

令和4年度（2022年度）第15回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：令和5年（2023年）3月13日（月）14時30分～15時40分

場所：熊本県立大学 本部棟 2階 大会議室

出席：学長 堤 裕昭
副学長 鈴木 元
事務局長 倉光 麻里子
文学部長 村尾 治彦（リモート参加）
環境共生学部長 石橋 康弘（リモート参加）
総合管理学部長 澤田 道夫（リモート参加）
共通教育センター長 山田 俊（リモート参加）
地域・研究連携センター長 柴田 祐（リモート参加）
デジタルイノベーション推進センター長 飯村 伊智郎（リモート参加）
国際教育交流センター長 レイヴィン リチャード
（リモート参加）
株式会社 熊本日日新聞社 調査役 松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会 会長 牛田 卓也
監事：弁護士 本田 悟士

欠席：九州ルーテル学院 院長 内村 公春
監事：公認会計士・税理士 吉川 榮一

委員以外の出席 文学研究科長 米谷 隆史（リモート参加）

事務局：川元事務局次長、松永企画調整室長、犬塚地域・研究連携センター事務長、三隅教務入試課長、山村教務入試課入試班長、尾方教務入試課教務班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 令和7年度（2025年度）一般選抜の実施教科・科目等について

新「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示、令和4年度から実施）への移行に伴い、令和7年度（2025年度）入学者選抜（令和6年度（2024年度）実施）の受験対象者から高等学校における学習内容が変更されていること、また大学入学共通テストの出題教科・科目も変更予定となっていることから、本学の一般選抜の実施教科・科目等の見直しを行う必要があり、そのような事情をふまえ、事務局教務入試課長から資料1に基づき「学内で検討を行い取りまとめましたので、ご審議いただきたい。なお、承認いただければ、今月3月末に公表予定。」と説明があつ

た。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程の募集停止について

文学研究科長から、資料2に基づき「文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程の募集を令和6年度から一旦停止し、人材育成の土台となる学部教育と併せて、高度人材を養成する大学院教育についても、その目的や教育の実施体制等を見直すこととする。なお、現在在籍している学生の指導までは責任をもってやりたい。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 令和5年度（2023年度）入学者選抜（大学院秋季入学（熊本県立大学水銀研究留学生奨学金枠を除く））の実施方針について

事務局教務入試課長から、資料3に基づき「令和5年度（2023年度）入学者選抜大学院秋季入学試験（水銀留学生を除く）について、ほぼ例年どおりのスケジュールで実施予定。御審議をお願いする。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 令和5年度（2023年度）入学者選抜（大学院秋季入学（熊本県立大学水銀研究留学生奨学金枠））の実施方針について

事務局教務入試課長から、資料4に基づき「令和5年度（2023年度）入学者選抜のうち熊本県立大学水銀研究留学生奨学金の給付を受ける外国人留学生特別選抜試験の実施方針について、対象は環境共生学研究科博士後期課程、募集人員2名と例年どおりのスケジュールで実施予定。御審議をお願いする。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑤ 第4期中期計画（R6-11）の策定について

事務局企画調整室長から資料5に基づき、「第3中期計画が令和5年で終了するため、地方独立行政法人法に基づき、次期中期計画を策定し、令和6年2月末までに県へ認可申請を行う必要がある。策定案については今後お諮りするが、策定に際し作成上の留意事項及び策定スケジュールについて、御審議をお願いする。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑥ 令和5年度計画(案)について

事務局企画調整室長から資料6に基づき「第3期中期計画の最終年度にあたる令和5年度(2023年度)計画案を作成した。年度計画は、教育、研究、地域貢献、国際交流、業務運営の大学運営全般にわたり50項目の計画で構成している。

重点事項として、国際的な視野と認識を高める教育研究の推進、地域との幅広い協働を確立する教育研究の推進、社会や時代の状況を踏まえた対応を掲げ作成しており、3月末の公表等を予定している。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 令和4年度内部質保証推進委員会の審議結果について

事務局教務入試課長から資料7に基づき「令和4年度の内部質保証推進委員会の審議結果について、定例的に開催し、規程に基づき報告している。チェックリストに基づき、点検検討を行っているが、今回、助言、改善事項はなかった。検討事項としては、令和3年度に策定したアセスメント指標の活用について意見交換を行ったほか、英語力向上に向け、令和5年度から実施するTOEIC®IPについての検討を行った。報告事項としては、前回、学生との連絡方法について遠隔授業のルール化について、学生からの要望により行ったものだが、Teamsに統一するなど改善した内容を報告した。」と説明を行った。

② 令和4年度(2022年度)研究活動上の不正防止対策の実施状況について

事務局 地域・研究連携センター資料8により「研究活動上の不正防止対策の実施状況について、コンプライアンス教育と啓発活動、研究倫理教育の実施やモニタリングの実施、意識調査等を行った」旨の説明があった。

4 その他

次回日程 令和4年度(2022年度)第16回 3月20日(月)
午前10時～ 本部棟2階 大会議室

5 閉会